RI DISTRICT 2550（TOCHIGI）

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries

超我の奉仕

2005～2006年度国際ロータリーのテーマ
RI会長:カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
ガバナー:大竹義夫

2005.7
NO.01

相田みつを著「おかげさん」（ダイヤモンド社刊）より
© 相田みつを美術館　http://www.mitsuo.co.jp

CONTENTS

01　RI会長メッセージ
03　大竹ガバナーメッセージ
04　就任あいさつ
09　ガバナー公式訪問日程表
10　地区組織図

RI会長メッセージ

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

スウェーデン、イェーテボリ

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2004－05年度	RI会長エレクト	1997－98年度	RI監査委員会副委員長
1996－98年度	国際ロータリー理事	1998－00年度	RI監査運営審査委員会委員
1997－98年度	RI財務委員会委員長	1987－88年度	地区ガバナー

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガストF.ブラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、ステンハマー氏は世界中を回りました。さらに、同氏は数社の理事および地元の私立学校の理事長を務めてきました。

ステンハマー氏は、1974年以来のロータリアンです。氏は入会後すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、そして国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。地区では、青少年交換委員会、会員選考委員会、スウェーデン・ロータリー青少年交換財団などの委員長を歴任しました。また、氏が所属する地区の国際ロータリー奨学金財団の会計を担当し、1987－88年度には地区ガバナーを務めました。

青少年奉仕委員会に任命された1991年、同氏はロータリーへの国際奉仕を開始し、1993年には同委員会の委員長、そして青少年奉仕実行グループの地域コーディネーターを歴任し、数々の国際ロータリー研究会のモデレーターも務めました。同氏は、フィンランドからアフリカまでの地域、米国、そしてインドまで、数多くの地区大会にRI会長代理として派遣されました。1996－98年度にはRI理事を務め、それ以来、執行委員会のメンバーや財務委員会委員長、監査委員会の副委員長などを歴任しました。

1998年－2000年度にはRIの監査運営審査委員会の委員に、2001年にはサンアントニオ国際大会委員会の委員となりました。同氏はまた、1999－2000年度地域雑誌編集者セミナーのモデレーター、2000－04年度ヨーロッパおよびRIBI恒久基金委員会の委員長、ストックホルムで開かれた2003年度会長主催祝賀会議の議長、2003－04年度識字および教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、およびポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。

ステンハマー氏は1935年1月16日、スウェーデンのイェーテボリに生まれました。1962年にモニカ夫人と結婚し、2人の息子、そして2人の孫息子と孫娘が1人います。ステンハマー氏はロータリー財団の大口寄付者およびベネファクターです。

朋友ロータリアンの皆さん

005－06年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずです。

このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叡智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。

私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長となることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして**「超我の奉仕」**を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すな

わち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いからも、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。

このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリー・クラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。

これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。

2005－06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリー・クラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生環境による多くの保健上の恩恵を受けています。

しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が、安全な水の供給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果、予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000から5,000リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するために、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。

識字率向上と水保全が注目すべき二つの緊要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリー・クラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っていただくよう、すべてのクラブに奨励したいと思います。

しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
2005－06年度 国際ロータリー会長

ロータリアンの皆さんへ

国際ロータリー第2550地区
ガバナー　大　竹　義　夫

2005－06年度RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏のテーマは……「SERVICE Above Self －超我の奉仕」です。「超我の奉仕」はロータリアンであれば誰でも知っている標語です。

ステンハマーRI会長が、この標語を今年度のテーマとして発表した時、一瞬驚きの声があがりました。そして次にガバナーエレクト全員がスタンディングオベーションをもって、このテーマを心から感動して受け入れました。なかには涙を流しているエレクトもおりました。それ程尊厳のあるテーマだったのです。

正にRI会長はロータリアンが第2世紀の第1歩として、そして今後100年間歩み続けるには1905年から培われたロータリーの精神を「超我の奉仕」という5文字で表現し、具現化することが不可欠だと感じたからでしょう。

皆様もう一度、原点に立ち戻り、我々ロータリアンが、今、成すべきことは何か、真剣に考えましょう。先ずは草の根運動から、地域のニーズを堀り起こし、奉仕の精神を学びとり、次に21世紀の世界平和維持のため、ステンハマーRI会長が提唱した「識字率向上と教育問題」「水保全問題」「青少年教育問題」に世界中のロータリアンが英知をかたむけて問題解決に向かっていきましょう。

そして「ロータリーの公共的イメージ向上」を話し合いながら、ロータリーの夢を実現するためにはどうしても成さなければならない「会員増強問題」「財団の必要性」を各ロータリアンが真摯に受けとめ、次にその実践を通じて職業に対する倫理を学びとり、人間としての生き方を共に手を携えて探究していきましょう。
「超我の奉仕」であなたの人生を豊かに！

2005－06年度　ロータリアンとしての目標

出席率の向上
地区大会全員出席
公共イメージ向上
青少年教育と青少年交換
WCS活動
財団　寄付130ドル
米山記念奨学会　寄付18,000円
社会奉仕基金の創設 ――5S運動の実践――

就任挨拶

超我の奉仕

地区研修リーダー　**亀和田辰男**
（宇都宮北RC）

’05～’06年度大竹ガバナー年度の地区研修リーダーを拝命しました宇都宮北ロータリークラブのパストガバナーの亀和田でございます。

国際ロータリーの二世紀目の第一年度大竹年度に皆様と同じ目標に向って理想と実現に向い行動を共に出来る事をロータリアンとして使命感の充実と喜びで一杯でございます。

RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏のテーマは「超我の奉仕」です。

すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくり考えていただく機会です。そしてこの思いやりと實容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思いますと力強く言われております。

21世紀は変革の年といわれています。ロータリーも例外ではありません。RI指導の「上意下達」の思考から「ボトムアップ」の思考、したがいまして、ロータリーの基本理念のクラブの自主性を再認識しロータリーの原点について皆様と一緒に様々の角度から考えてみようではありませんか。

「超我の奉仕」の理念のもと、大竹年度が我々2550地区にとって、素晴らしい年度である事を誓い合いましょう。

地区幹事　**中村福蔵**
（足利東RC）

2005～06年度の地区ガバナーとして大竹義夫氏が就任いたしました。板橋敏雄ガバナー年度より数えて18年振りの選出となります。ご承知の通り、ご就任を予定されておりました板橋秀二氏（敏雄氏の実弟）が突然のご発病のため辞任され、昨年3月より地区幹事として共に地区運営に携わって参りました大竹義夫氏が後任として指名され2月の国際協議会にてガバナーとしての厳しい研修を積まれて帰国されました。

地区幹事の後任として不肖私が板橋年度から18年ぶりに2回目の地区幹事に指名され就任いたしました。

ガバナーの任務は各クラブ公式訪問を始めとして13項目にわたる重要な事項の指導と監督が課せられておりその他のRI役員としての責任に属する任務を果たさなければなりません。地区幹事の責務は、ガバナーの任務の事務的な事項について全面的に補佐をすると共に、各クラブに対する連絡、調整を担当することになっています。

今年度ご就任されました、ガバナー補佐、並びに地区役・委員の皆様のご活躍をご期待申し上げ、大竹年度に対するご指導とご支援を衷心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

地区会計長　**新里元二**
（足利東RC）

いよいよ本年度の国際ロータリーは力強く動きだしました。当初板橋秀二ガバナーエレクトでしたが、あまりにも劇的な体調不良により、大竹義夫地区幹事が大いな使命感に燃え急遽ガバナーエレクトに指名されました。

私は板橋秀二氏より指名されていましたが、引き続き地区会計長の大役を引き受けることになりましたので宜しく御協力の程お願い致します。

年々地区財政は厳しくなっておりますので、予算も限られますが、効率良い事業活動に努めていただければとお願いしております。

現在の最大問題として会員の減少があげられますが、皆さんの御協力をいただき、会員1名純増に向けて御努力頂きたく、心よりお願い申し上げます。

就任挨拶

第１分区ガバナー補佐　石橋　一男（那須RC）

７月はロータリーの新年度の始まりで2550地区も大竹ガバナーを迎えてのスタートになります。大竹ガバナーは常に大自然の環境を大事にしよう。特に水の大切さ、有難さを論じて居ります。

第１分区は県内最北部に位置し、那須連山を中心に箒川那河川と二条の河の中に広がる自然環境の最も素晴らしい地域でいわずもがなこの自然環境こそ第１分区の宝であり誇りである。年間500万～600万の人々が都会から集り釣りや新緑紅葉と自然の美を求めにやって来る塩原那須山の下には今でもトーセミトンボ、ホタルの集落もあり大田原黒羽は日本の歴史に残る数々の名所旧蹟があり、黒磯、那須、西那須は日本でも有数な観光地として人々のふれあいの場になっている。人事交流、新文化の発見の場でもある。第１分区は分境から分境までぎっしりと自然が一杯の玉手箱である。

大竹ガバナー年度は自然環境の保全年度であると認識し第１分区はこの素晴らしい自然環境を再度見直し、堀り起こし保護保全につとめたいと思う。今年は第１分区各クラブに呼びかけ、年に何回か朝例会そして各クラブ、町内の清掃など一般市民の方々に、ロータリークラブの存在をもっと親近感をもって理解をしてもらう様努めていただきたい。私達はロータリアンである、四つのテストの実行者である。

第２分区ガバナー補佐　萩原　紀夫（烏山RC）

第２分区ガバナー補佐を委嘱されました烏山ロータリークラブの萩原紀夫でございます。

私たちの分区は、現在５クラブからなり、小規模なクラブが多い分区であります。各クラブを取り巻く環境は、厳しいものがありますが、それぞれのクラブは、独自性を生かしながら、地域との交流・奉仕活動・会員数増強などに取り組んでいるところであります。

今年度の国際ロータリー会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、「超我の奉仕」をテーマに掲げました。このテーマは、ロータリー精神の基本と言われるものであり、新たな100周年に向けて進もうという会長の強い決意を感じさせられるものであります。

大竹ガバナーは、テーマ「超我の奉仕」を実践するために第2550地区の目標を７つ掲げられました。そして、「各クラブの目標は、それぞれのクラブの全会員が本音で話し合い、決めてもらいたい。」と述べておられます。また、大竹ガバナーは、このテーマが示された時のアナハイムでの感動のようすを熱く語っておられます。私たちもこの精神を受けて、クラブが設立された時の先輩ロータリアンの熱い思いに学ぶべきことが多くあると考えられます。

私は、ガバナー補佐として各クラブの会長・幹事との会合、クラブの例会やクラブ協議会などに参加させていただきます。そして、会員の皆様との話し合いを通して、各クラブの状況や課題を把握して、ガバナーのアドバイスをいただき活動の支援に努めたいと思います。このようなことを考えますと、私自身に与えられた課題の重さをいまさらながら痛感いたしております。

皆様のご協力をいただきながらクラブの目標実現のために、ガバナーと各クラブの橋渡し役として努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第３分区ガバナー補佐　羽石　光臣（宇都宮東RC）

この度、第三分区のガバナー補佐に任命されました宇都宮東ロータリークラブの羽石光臣でございます。

RI会長が主な強調点と考えておられます「識字率向上」「水保全」「青少年教育問題」。大竹ガバナーが提唱されています、「ロータリーの公共的イメージ向上」を図りながら、ロータリーの夢を実現するための「会員増強問題」「財団の必要性」に、ガバナーが指導性を発揮できます様に、ガバナー補佐は、クラブの管理運営についてはガバナーを支援することが任務と受け止め、また、クラブの地元地域社会からのニーズを見極め、叶える、この草の根の参加にRI、地区の援助が受けられますように、ガバナーへの進言もガバナー補佐の任務であると考えております。

各クラブの皆様の協力を得ながら、ガバナーと各クラブのパイプ役を果たして参ります。皆様のご指導、ご鞭撻を頂いて、１年間努力致しますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第４分区ガバナー補佐　阿久津治久（小山中央RC）

第４分区ガバナー補佐を拝命いたしました小山中央ロータリークラブの阿久津治久でございます。

ロータリー２世紀目の最初の年に、大役を仰せ承り、大変恐縮いたしております。お引き受け致しました以上、ガバナーとクラブとの橋渡しに徹し、微力ではありますが心して勤めたいと存じます。

本年度、大竹ガバナーは、RI会長のテーマである「超我の奉仕」に基づき、我々ロータリアン一同が、もう一度原点に立ち戻り、今、成すべき事を真剣に考え、先ずは草の根運動から地域のニーズを堀り起こし、奉仕の精神を再認識するべきであると明言しておられます。

就任挨拶

クラブ奉仕は効果的なロータリー奉仕活動の中枢に位置するものです。すべての奉仕部門が成果を上げる為にはクラブが円滑に運営されていなければなりません。例えば、クラブ例会には必ず出席する、クラブプログラムに進んで参加する。委員会活動に加わるなどということが推進されているかどうか。「基本は参加すること」ですから出席し、共に行動をして、共に感動してロータリーの理想に向かって前進することができるものと存じます。

100年の歴史に支えられ大きく羽撃くこの年、分区の皆様のご協力を得ながら勤めてまいりたいと存じますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

第５分区ガバナー補佐　永岡　俊彦（今市RC）

ロータリーの新たなる100年に向けた始まりの年、ガバナー補佐に任命された今市ロータリークラブの永岡俊彦でございます。

過去の100年は、一言で云えば拡大に向けロータリーがどう行動すべきか考えながら走って来たと思います。

しかし、現在の状況は会員数の減少、クラブ数の減少と地域から存在を問われる時代に入ったと思います。カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長のテーマ「超我の奉仕」それは、「ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けて方向づけ、そして、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げる事が出来るか検討して下さい。」と結んでいます。

原点に帰って、ロータリーの綱領や４つのテストをもう一度じっくりと考えながら、各クラブの伝統、地域性を考慮しつつ地域に密着したクラブ存続目指し、各クラブの意向を的確にガバナーにお伝えし、又、ガバナーの意向を的確に各クラブにお伝えする事が私の役目と考えますので皆様の率直なご意見をお聞かせ下さる事をお願い申し上げご挨拶と致します。

大竹ガバナー年度が充実した１年に成る事を祈念し、一年間宣しくお願い申し上げます。

第６分区ガバナー補佐　椎名　竹一（佐野RC）

大竹ガバナー年度が、いよいよスタートしました。突然のご就任なので、準備やその他で大変だったと思いますが、ご本人からは、意欲十分な気概がうかがえますので、責務を充分果たされるとの感を強くいたしました。

私（佐野RC所属）も、さあ〜、これからだとのAG意識を持ちました。ただ、「自然体／力まない」を、モットーにしておりますので、そのことを忘れずに今後大竹ガバナーのご指導を仰ぎ、ロータリアンのみなさまの、お力添えを賜りながら、責任を全うしていきたいと肝に銘じました。

そう言っても、簡単に任務を遂行できるとは思いませんけれども、微力に活を入れながら、RI会長とガバナーの方針や意を汲み取り、理解を深め、ガバナーと各クラブ間の橋渡しを、責任をもって実施していきたいと考えております。

ガバナー補佐（Assistant Governor）の任務は、たくさんありますが何よりも大きな課題は、Intercity Meeting（通称IM）であります。6分区9クラブの皆様には、特段のご意見やお知恵を、拝借しなければなりません。IMは、2006年2月19日（日曜日）、佐野市で開催を予定しております。みなさま全員のご出席（登録）をお願いいたします。

ガバナー公式訪問・クラブ協議会・年数回のクラブ訪問・その他の行事で、お会いする機会が何度かあるかと存じます。

みなさまの温かい友情とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

結びになりますが、各クラブの益々のご発展とロータリアン・ご家族・ガバナー事務所スタッフ・関係者のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

お目を通して頂き、ありがとうございました。

クラブ奉仕委員長　田澤　真人（佐野RC）

本年で２年目を迎える田澤真人（佐野RC）です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。ロータリークラブに入会して、友情（親睦）を深める方法は、まず例会に出席して、例会でロータリーの理想、即ち、「人に対する思いやりの心」と「手助けをする心」を学び、自分自身に身に付けることで、友情（親睦）を深めることをロータリーは期待しております。そこで「例会」では、お互いに声を掛け合い、相互補助の暖かい人間関係を持って友情を深め、他の会員を思いやり、お互いに切磋琢磨し自己改善し、「奉仕の心」を身に付ける“人生道場”が例会です。ですから、例会は単に昼食をとるだけの所ではなく、ロータリーの奉仕の理想を学ぶ所であり、また自己改善する所でなければなりません。

日本語の「奉仕」（Service）とは、自分以外の他人や公共のため、即ち「人のため世のため」に活動する事を指しますが、ロータリーの奉仕、特に「クラブ奉仕」の奉仕は、ロータリアン（会員）がクラブのために奉仕することです。つまり、ロータリアンがクラブ会長や幹事や種々の役割を引き受けること、また会員増強に努力すること、そしてロータリアンがクラブの運営が円滑に進むようにクラブに積極的に協力する事です。これは、ロータリアンがクラブのために協力する「義務」を奉仕と言っております。

就任挨拶

ですから、クラブの維持管理、活力の堅持を目指し各クラブのクラブ奉仕委員会には、下部組織としてこれらの対内的に様々な役割を担う小委員会が多数存在します。しかし、歴史のあるクラブほど、マンネリ化が懸念され、活性化への挑戦が望まれているのも現実の姿であります。皆様方のお知恵を拝借し、その時代の即応したもの、そうでないものには進取の気概をもって取捨選択の必要性を痛感致します。

※　重要目標

1. クラブ奉仕研究会の開催　2. 会員増強運動の実施（純増１名以上）　3. 例会に積極的参加（出席率の向上）　4. 女性会員の増強（特に未加入クラブへ奨励）　5. 新会員研修セミナーの開催　6. ロータリー家族委員会の拡充　7. 各クラブからの卓話の要請に積極的に応じる。

職業奉仕委員長　**田代　彰彦**（大田原RC）

私達は業種別で選ばれた職業人の集まりです。そして、その職業を通して、各々の会員が如何に社会に奉仕できるかという「理想的な奉仕と、その達成感」を諮問する四大奉仕部門中唯一の抽象的な考えをもっているのが「職業奉仕」です。それが為に各々の職務の道徳的なレベルアップと、その業務の品位の向上を計ろうとする事を主な目的にしています。

「職業奉仕」はロータリーの基本的理念であるにも拘わらず、残念乍ら四大奉仕部門中最も理解し難い奉仕部門とされています。

それは、私達の生計の源としている「職業」と、他人への思いやりからの「奉仕」という相反する方向にある二文字を一つの言葉にして「職業奉仕」と言っている事と、難解な言葉で説明されている所以だと思います。

このような「職業奉仕」についての考え方は他の奉仕団体には無いロータリーだけが持つ独特の思想です。

そこで本年度当委員会は、クラブ職業奉仕委員長さんをはじめ、会員の皆様と共にその研修を深めて参りたいと思います。どうぞ各クラブの職業奉仕委員長さんに皆様の温かな思いやりを以って協力してくださるようお願い致します。

転換期にある奉仕活動

社会奉仕委員長　**前田　茂**（宇都宮 90RC）

日頃、ロータリアンの皆さまにはそれぞれの地域における奉仕活動に積極的に参加され、地域の発展、住民の生活向上にお力添えをいただき感謝申しあげます。

さて、昨今の社会現象を見てみますと高度経済成長の影響による家庭生活の変化、教育の行き詰まりなどから新たな問題点が生じその実態は根が深いようであります。これらの多くがモノ・カネ中心の人の心が忘れられてしまった結果、犯罪・事故のほかに家庭不和、社会風俗の乱れ、薬物使用、不登校・いじめ、引きこもりなど青少年や弱者の巻き込まれるケースが目立って多くなっています。しかもよき伝統であった近所づきあいによる助け合いの精神がいまはなくなり、他人のことはお構いなしに私生活の面ばかり関心が向けられ、多くの社会的ひずみが半ば放置されたままになっています。

RIのテーマ「超我の奉仕」は思いやりの心でサービスするということであり、これは日本人の心の象徴と共通するものです。これからは、人々が助け合いの心をもって安全で安心して暮らせる共生社会を構築していくことが最も重要でありこれはロータリーの変わらぬ理念とも一致し社会奉仕委員会のみならず他の奉仕委員会とともにクラブ全体で身近なところから関わっていくべきだと思っています。社会奉仕実績集にもあるとおり多くの奉仕実績をあげながら一般の人びとにロータリーを理解されないのは大変残念でなりません。今後はそれぞれのニーズに合わせて住民との触れ合いの場である町おこしや街づくりなど通して交流を深め地域における生活文化の向上、環境保全、自然保護などの活動で一緒に汗を流していけば理解は深められます。そしてロータリー奉仕グループ、ボランティア団体、町内会、地場企業などと連携して取り組むことにより一層効果をあげることができると思っています。

今後とも皆さまがたのご協力をよろしくお願い申しあげます。

新世代委員長　**川名　悟**（宇都宮 90RC）

今年度、地区新世代委員長を拝命致しました川名　悟です。皆様の御理解と御協力を頂きながら、責務を全うして参りたい所存ですので何卒宜しくお願い致します。

さて、ロータリー 100 年に当たる年度を終え、今年度はロータリー新世紀ともいえる 101 年目となります。様々な課題が山積している中、我々ロータリアンが原点に立ち返り、その精神を見つめ直す時に来ていると思われます。当委員会と致しましても、大竹ガバナーの提唱される「ロータリアンがその姿勢を正す」事に努めてゆきたいと思います。

皆様の御努力の結果、ロータリー活動の縦のつながりは堅牢なものとなってきており、クラブ内、各委員会内での活動は、各々活発な展開がなされています。これからは、それに加えた横のつながりが益々重要なものとなってくると思われます。当委員会をとりましても、高校生の奉仕クラブであるインターアクトクラブと、30 才迄の大学生・社会人の奉仕クラブであるローターアクトクラブとの横のつながりを密にし、それらに在籍する青少年がライラセミナーに参加し、学びと出会いの場を共有する。さらに、

就任挨拶

青少年育成委員会が発刊の準備を進めている「ロータリアン講師派遣、教員生徒受入れ事業所リスト」の活用により、インターアクターを含む学校生徒・地域・教育行政そしてロータリーとの大きな輪が形成される事でしょう。これこそ正に、100年前ポール・ハリスが想い描いた輪が回ってゆく年につながるものではないでしょうか。

加えて、米山記念奨学会、青少年交換委員会等との連携によって、明日を担う若者達の育やかな成長のための一助となれる様、新世代委員会の4つの小委員会（1、青少年育成　2、ライラ　3、ローターアクト　4、インターアクト）の総力をあげて、新世代に対する「超我の奉仕」を進めて参りたいと思います。

国際奉仕委員長　**柴田　恒男**（宇都宮西RC）

世界社会奉仕（WCS）委員会

①地区及び、地区内クラブで参加可能なプロジェクトの提案をし、各クラブでの活動を促す資料を作成、配布してクラブにおいて検討をしていただく。

②紛争地域における障害者のために、簡易な義足「セルフウォーカー」（喜連川の㈱ヤマトエンジニアリング製）の提供ができるよう検討する。

青少年交換委員会

①夏期交換学生

昨年に引き続き、米国　ロサンゼルス5280地区との短期交換を行います。米国学生は7月2日に当地区に到着、1か月間当地区内の4分区に1週間ずつホームステイする予定です。当地区からの派遣学生は、来日学生が帰国する7月末に一緒に渡米する予定です。

米国学生が来日した際には、受け入れ分区のガバナー補佐にコーディネイターをお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

②一年交換学生

本年アメリカ2名、フランス2名、カナダ、ブラジル、タイ、台湾各1名、合計8名の学生を派遣いたします。

当地区での受け入れについては原則各分区で1名ずつ、ガバナー輩出クラブで1名、第3分区で1名増の計8名をお願いいたします。ガバナー補佐、各クラブのご協力、よろしくお願いいたします。

学生が来日する前に、受け入れクラブに対して「受け入れに際してのオリエンテーション」を開催して準備していただきます。

学生については来日後、6～7回のオリエンテーションを日本の派遣学生と一緒に受けてもらいます。また3月にはミュージカル鑑賞、4月には地区大会に参加して、日本語スピーチコンテストを行う予定です。

国際親善委員会

①現在親善交流を実施しているクラブへの支援、今後親善交流が可能なクラブを出来る限り多く見つける。

②国際大会への出席の支援促進を行う。

ロータリー財団委員長　**半田　久一**（黒磯RC）

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチCクランフが「全世界的な規模で慈善・教育その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、今日まで「国際ロータリーのロータリー財団」として活動を進めてまいりました。

地区におけるロータリー財団の6つの委員会諸活動のすべては、地区内50ロータリークラブの皆様による熱い心あるご寄付によって支えられてまいりました。大竹義夫ガバナー年度の地区目標について、ご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いを致します。

●**国際親善奨学生**の選考試験を6月26日に行い5名が決まりました。

●**研究グループ交換**は、イギリス第1170地区との派遣を行います。来年5月21日出発、6月18日帰国で、募集締切は来年1月31日です。本年は隣国GSEとして、韓国第3750地区との交換をインターアクト顧問教師により行ないます。派遣は10月5日出発、11月4日帰国です。受入れは、来年4月になります。

●**年次寄付の地区目標**について、本年は2001-02年と同じく一人当り130ドルになりました。恒久基金は、50名以内のクラブ1名、100名以内のクラブ2名、100名以上のクラブ3名になりました。それぞれ、ご協力をよろしくお願い致します。

●**財団地区補助金**は、未活用の23ロータリークラブは、7月30日までに申請書を提出して下さい。補助金は20,000ドルで1クラブ1,000ドルの予定です

●**財団学友**は、国際親善を体験した国際親善奨学生と研究グループ交換メンバーの集まりで、地区ロータリー家族の一員です。7月9日に総会と交流会を開きます。

●**ポリオ**は、ナイジェリアからアフリカ諸国に拡散することを阻止するため、アフリカの国々はポリオへの取り組みを強化しています。財団は、ポリオ撲滅のため、財団の百周年にあたる2017年まで延長いたしました。

□　**ロータリー財団地区セミナー**は8月28日、宇都宮ニユーイタヤホテルにて開催します。1万人達成のために年会費無料の**国際ロータリースタンダード・カード**が発行されました。この機会に、検討の上、ご協力をよろしくお願い致します。

就任挨拶・ガバナー公式訪問の日程

米山記念奨学会　**米光　啓禰**（宇都宮南RC）

米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源に、大学・大学院で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

ロータリーの理想とする国際理解・国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献する事を目的としています。

東京RCが日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の業績を記念して始めた「米山基金」を出発点とし、以来この50年間に世界各国から1万3千人余に及ぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、日本最大の民間奨学団体となっています。

いわば米山記念奨学会は、日本のロータリーによって作られ、育てられ発展してきた、誇りある国際奉仕事業といえます。

しかし、昨今の景況・ロータリアンの減少など色々な事情から、事業を支えるロータリアンからの寄付額が年々減少し、平成17年4月から始まる年度から、奨学生の採用数を2割減の8百名に、また奨学金月額を1～2万円減少させる制度に変更せざるを得ない状況になっております。

昨ロータリー年度の寄付額の最終結果は、まだ分かりませんが、途中報告から、多分、前年実績を下回る事は確実のようであり。減少傾向に歯止めがかかっておりません。

先輩ロータリアンが営々と築き上げてきた日本のロータリーの誇るべき事業が、このまま衰退していく事を、どのように対処しなければならないかを含め、現在のロータリーを担当する我々は、真剣に考えなくてはならないと思います。ロータリーの原点に立ち帰り、「自分とロータリー」について考え直す重要な課題といえます。

地区ロータリアンのご理解を得る為、地区委員会も米山情報を頻繁に発信する計画ですので、ご注目の程宜しくお願い致します。

ガバナー公式訪問の日程

（実施期間：2005年7月～12月）

第1分区	
7／27(水)	※ 塩原
7／28(木)	那須
8／23(火)	※ 西那須野
8／24(水)	黒磯
11／10(木)	※ 大田原
11／10(木)	※ 大田原中央
11／11(金)	黒羽

第2分区	
9／14(水)	高根沢
9／20(火)	烏山
9／20(火)	馬頭小川
10／4(火)	※ 矢板
11／17(木)	氏家

第3分区	
7／21(木)	宇都宮西
8／8(月)	宇都宮90
8／31(水)	宇都宮南
9／8(木)	宇都宮陽南
9／13(火)	※ 宇都宮陽北
9／22(木)	宇都宮北
10／14(金)	宇都宮
11／8(火)	宇都宮東
11／16(水)	宇都宮陽東

第4分区	
9／2(金)	小山東
9／27(火)	小山南
10／12(水)	小山北
10／20(木)	小山
10／26(水)	石橋
11／1(火)	真岡西
11／22(火)	小山中央
12／7(水)	※ 益子
12／8(木)	真岡

第5分区	
8／3(水)	壬生
8／18(木)	栃木西
8／18(木)	栃木南
9／1(木)	日光
9／6(火)	今市きぬ
9／28(水)	今市
10／6(木)	鹿沼
10／19(水)	鹿沼東
11／2(水)	栃木
11／15(火)	鹿沼中央
12／15(木)	粟野西方

第6分区	
8／22(月)	※ 佐野
9／7(水)	佐野東
10／13(木)	田沼
10／25(火)	岩舟
10／27(木)	※ 足利西
11／4(金)	足利
12／1(木)	足利わたらせ
12／6(火)	葛生
12／20(火)	足利東

〔印は合同例会　※印は夜間例会

地区組織図

2005～2006年国際ロータリー第2550地区組織図

District 2550 Organization

ガバナー補佐

第一分区	石橋一男（那須）	大田原・黒磯・西那須野・黒羽・那須・塩原・大田原中央
第二分区	萩原紀夫（烏山）	烏山・氏家・矢板・馬頭小川・高根沢
第三分区	羽石光臣（宇都宮東）	宇都宮・宇都宮東・宇都宮西・宇都宮南・宇都宮北・宇都宮90・宇都宮陽東・宇都宮陽北・宇都宮陽南
第四分区	阿久津治久（小山中央）	真岡・小山・小山南・益子・小山東・真岡西・小山北・石橋・小山中央
第五分区	永岡俊彦（今市）	栃木・日光・鹿沼・今市・栃木西・鹿沼東・壬生・栃木南・栗野西方・鹿沼中央・今市きぬ
第六分区	椎名竹一（佐野）	足利・佐野・葛生・足利東・田沼・足利西・佐野東・岩舟・足利わたらせ

地区ガバナー

大竹義夫（足利東）

地区大会

地区諮問委員

鈴木基一（西那須野）
板橋敏雄（足利東）
石原敬士（鹿沼）
辻　由兵衛（宇都宮東）
村井敬爾（矢板）
深澤豊吉（足利）
吉澤兵左（葛生）
岡田昭郎（真岡）
半田久一（黒磯）
亀和田辰男（宇都宮北）
佐野正行（佐野）
村上　肇（宇都宮西）

ガバナー指名委員

岡田昭郎（真岡）
○半田久一（黒磯）
亀和田辰男（宇都宮北）
佐野正行（佐野）
村上　肇（宇都宮西）

○印は指名委員長

ガバナーエレクト

落合雅雄（栃木西）

地区研修リーダー

亀和田辰男（宇都宮北）
佐野正行（佐野）

地区協議会

会長エレクト研修セミナー（PETS）

地区チーム研修セミナー

拡大委員

亀和田辰男（宇都宮北）
佐野正行（佐野）
村上　肇（宇都宮西）

国際大会参加推進（コペンハーゲン／マルメ）

※落合雅雄（栃木西）
塩川美好（西那須野）
八板　誠（矢板）
永田博康（宇都宮北）
冨田兵哉（益子）
手塚　廣（鹿沼東）
天利　宏（栃木南）

※印は委員長

RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

RI理事

南園義一（防府）
重田政信（高崎北）

地区幹事

中村福蔵（足利東）
森　玄房（宇都宮西）
大島伸介（栃木西）

地区会計長

新里元二（足利東）

地区資金委員

森田佳延（宇都宮西）
久嶋柳次（栃木西）

ロータリーの友地区委員

松葉悠子（足利東）
塚田宏司（栃木西）

RJW地区委員

小林正明（宇都宮東）

カウンセラー（担当諮問委員）

クラブ奉仕担当	職業奉仕担当	社会奉仕担当	新世代担当	国際奉仕担当	ロータリー財団担当	米山記念奨学会担当
佐野正行（佐野）	岡田昭郎（真岡）	深澤豊吉（足利）	村上　肇（宇都宮西）	亀和田辰男（宇都宮北）	半田久一（黒磯）	吉澤兵左（葛生）

委員会

クラブ奉仕

委員長
田澤真人（佐野）

広報
☆八城光男（宇都宮東）
遠藤幸一（小山東）

ロータリー情報・IT推進
☆鈴木　宏（宇都宮北）
野澤篤司（宇都宮北）
梁島伸幸（壬生）

会員増強
☆高橋和夫（宇都宮陽北）
加藤利勝（黒羽）
吉成容一（氏家）
新妻健一（宇都宮北）
高田正五郎（栃木）
石原広明（鹿沼中央）
板橋　博（足利東）

ロータリー家族
☆高木敏子（石橋）
秋澤隆司（鹿沼）
荻野美知子（足利東）

☆印は小委員会委員長

職業奉仕

委員長
田代彰彦（大田原）

職業奉仕
☆村上芳弘（宇都宮南）
高橋經雄（氏家）
川島淳一（岩舟）

社会奉仕

委員長
前田　茂（宇都宮90）

社会奉仕
☆鱒渕弘一（宇都宮）
深尾耕造（宇都宮陽南）
宇南山照信（真岡）
吉光寺俊夫（小山）

新世代

委員長
川名　悟（宇都宮90）

青少年育成
☆川名　悟（宇都宮90）
伊澤勝彦（石橋）
粕谷明弘（宇都宮90）
山口裕司（那須）

ライラ
☆神山宜久（小山南）
中田英昭（葛生）
上野秀雄（石橋）
高山　恵（宇都宮陽北）
柳澤最伸（真岡西）

ローターアクト
☆小林正明（宇都宮東）
椎名則之（足利東）

インターアクト
☆岡川光佑（宇都宮西）
山崎　勇（足利東）
月江寛智（黒磯）
稲葉總吉（栃木西）
橋本義彦（足利）

国際奉仕

委員長
柴田恒男（宇都宮西）

世界社会奉仕
☆織田宏二（宇都宮北）
黒川正邦（壬生）
宇賀神　赳（鹿沼東）
野口忠男（宇都宮東）
飯村慎一（宇都宮90）

青少年交換
☆瀬野公男（小山南）
佐山知也（栃木）
青山敏朗（佐野）
和気勝利（黒磯）
松葉悠子（足利東）

国際親善
☆関谷和夫（足利東）
田島良久（馬頭小川）

ロータリー財団

委員長
半田久一（黒磯）

国際親善奨学金
☆白相淑久（馬頭小川）
伊東永峯（宇都宮西）
村上武夫（栃木）

研究グループ交換（GSE）
☆藤原郁三（益子）
村上正子（栃木南）
齋藤　隆（宇都宮北）
黒澤洋一（黒磯）
三井福次郎（佐野）

財団補助金
☆狐塚泰久（鹿沼）
高野藤房（宇都宮東）
佐藤　節（宇都宮陽北）

年次寄付＆恒久基金
☆吉澤慎太郎（葛生）
小口美好（矢板）
田村昭夫（小山東）

財団学友
☆藤原宏史（宇都宮）
渡辺一郎（西那須野）

ポリオプラス
☆比企達男（宇都宮陽東）
森本敬三（大田原中央）

米山記念奨学会

委員長
米光啓彌（宇都宮南）

米山記念奨学会
☆前田光弘（矢板）
塚越啓司（足利東）
池嶋英哲（西那須野）
恩田光憲（宇都宮西）
小林甚一郎（小山）

米山記念奨学会学友会
☆米光啓彌（宇都宮南）

2005－06年度地区主要行事予定

2005年　　は、地区外行事

月	日	曜日	行　　事	場　　所
7	1	金	GSE 韓国第 3750 地区派遣募集締切り	
	2	土	米山記念奨学会地区委員会	宇都宮：ホテルニューイタヤ
	2	土	夏期交換来日学生ガバナーズレセプション	足　利：足利館
	3	日	社会奉仕＆新世代委員長研修セミナー	宇都宮：東武ホテルグランデ
	9	土	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東　京：東京プリンスホテル
	10	日	第１回諮問委員会	足　利：蓮岱館
	10	日	第１回 GSE 委員会（韓国派遣準備）	栃　木：サンプラザ
	16	土	国際親善奨学生第１回オリエンテーション	宇都宮：
	24	日	ロータリー財団地域セミナー	東　京：高輪プリンスホテル
	24	日	クラブ奉仕＆職業奉仕委員長研修セミナー	宇都宮：宇都宮グランドホテル
	25－27	月－水	インターアクト研修旅行	鹿児島：屋久島・種子島
8	5	金	第９回インターアクト年次大会	栃　木：栃木市文化会館
	7	日	１年交換来日学生受入クラブオリエンテーション	宇都宮：ホテルフェアシティ
	21	日	国際親善奨学金委員会	宇都宮：
	21	日	１年交換派遣学生選考試験	宇都宮：ホテルフェアシティ
	28	日	R 財団＆米山記念奨学会委員長研修セミナー	宇都宮：ホテルニューイタヤ
	30	火	米山記念奨学会評議員会	東　京：
9	3	土	第１回会長・幹事会	足　利：足利プリオパレス
	11	日	GETS	東　京：高輪プリンスホテル
	11	日	国際奉仕委員長研修セミナー	宇都宮：ホテルフェアシティ
	11	日	１年交換直前帰国学生、夏期交換学生帰国報告会	宇都宮：ホテルフェアシティ
	11	日	ローターアクトの日（ゴミゼロ大作戦）	各　　地
	18	日	１年交換派遣学生第１回オリエンテーション	未　定
	23－25	金－日	ライラセミナー	鹿　沼：ウェルサンピア栃木

文庫通信（213号）

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、［ロータリー文庫］は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に設立され、35 年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、１万９千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちいたしております。

☆ 利 用 方 法 ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。
お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

（文庫資料をご希望の場合は）
・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
・絶版のものは実費（１枚 20 円＋送料）でコピーサービスを致します。
・重複資料はご希望により無料進呈致します。
・ビデオテープは有料でダビングを致します。

（貸し出し）
・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制
（申し込み用紙有）で貸出し致します。

ロータリー文庫

〒 105-0011　東京都港区芝公園 2-6-3　abc 会館 7F
TEL（03)3433-6456　FAX（03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

お知らせ　鹿沼中央RCより

毎月最終例会を夜間例会と致しておりましたが、平成 17 年７月より毎月第３例会を夜間例会と変更となりました。

国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒326-0802　栃木県足利市旭町553 (株)板通内
tel:0284-40-2550　fax:0284-41-1255
E-mail:hideji@02.watv.ne.jp